

- 1 日 時 令和5年9月20日(水) 5校時(13:40~14:30)
- 2 場 所 第1学年教室
- 3 学 年 第1学年(10名)
- 4 単元名 芸北の宝で地域おこし「目指せ!芸北ジュニアトレッキングガイド」
- 5 単元について

(1) 単元観

本単元は、本校の3年間を通した総合的な学習の時間の活動である「芸北の宝で地域おこし」の最初に設定されたものである。「芸北ジュニアトレッキングガイド」とは、芸北地域で実際に行われている芸北トレッキングガイドをもとに作られたもので、芸北の良さや芸北にある豊かな自然を様々な人に伝えていくことを目的として実施している。多くの生徒は小学生のときに芸北地域の資源を生かした「せどやま教室」などの総合的な学習の時間の取組を通して、芸北の豊かな自然について学んできた。中学校では、その豊かな自然を生かしたトレッキングガイドの取組を行う。

「芸北ジュニアトレッキングガイド」の取組は、4つの段階から成り立っている。

第1段階は、実際にガイドを受ける「試しの体験」である。実際に芸北でトレッキングガイドをされているプロのガイドからトレッキングガイドの魅力やノウハウを教えてもらいながら、本単元の見通しとトレッキングガイドになるための展望をもつ。

第2段階は、トレッキングガイドになるための「ガイド講習会」の受講である。「試しの体験」に協力していただいたプロのガイドからガイドとしての心得を学ぶ。講習会の最後には、ガイド検定試験を受け、ジュニアトレッキングガイドとして認定される。

第3段階は、小中合同トレッキングの場において、小学生をガイドする活動である。実際にガイドする八幡高原の下見に行き、その後各グループで半日の日程を計画し、小学校3、4年生をガイドしていく。実際にガイドをすることで、トレッキングガイドに必要な3要素(安全・安心な環境づくり、知識・技能、雰囲気づくり)を意識してガイドをすることの大変さを実感する。

第4段階は、八幡高原で一般の方をガイドする活動と本単元のまとめである。小学生をガイドしたことを通して自分自身のガイドと仲間のガイドを振り返り、ガイドとしての心得を再確認するとともに、本番までに必要な宣伝や下見、準備などに取り組む。本番終了後、自分自身のガイドと仲間のガイドを振り返るとともに、本単元のまとめとして、後輩や地域の人に自分達の取組を伝えていくために、発表資料を作成する。取り組んできたこと、課題をどう改善していったか、そのことを通して自分達にどういう力が付いたのかを発表する。

芸北の豊かな自然を案内するトレッキングガイドになる学習をし、実際に小学生や一般の方を案内する活動を通して、芸北の自然のすばらしさを実感し、それを広める意欲をもつとともに、目標を達成する過程でぶつかる様々な「妨げ」を乗り越え、仲間と共にやり抜く力を身に付けることができる。

(2) 生徒観

「1学期学校定期アンケート」より

令和5年度「1学期学校定期アンケート」質問事項において、地域に関わる質問及び1年生の回答は右の通りであった。「ふるさと芸北が好き」という項目(①)では、回答した1年生全員が肯定的な回答をしており、自分の住んでいる地域に対しては良いイメージを持っていることが分かる。地域との関わりについての質問(④)でも、地域と積極的に関わりを持っていることが分かる。

質問事項	肯定的回答	否定的回答
①私は、ふるさと芸北が好きです。	100.0%	0.0%
②私は、将来、北広島町で暮らしたいと考えています。	60.0%	40.0%
③私は、将来、北広島町で働きたいと考えています。	50.0%	50.0%
④私は、近所の人や地域の人と関わったり、地域の行事に積極的に参加しています。	100%	0.0%

一方で、将来についての質問(②、③)では、①、④の質問よりも数値が低下しており、自分の住む地域で将来仕事を見つけ、暮らしていくことに魅力を感じていない生徒がいることが分かる。

(3) 指導観

本単元の指導にあたっては、以上のような生徒の実態を踏まえ、「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編」に記載してある、「目標(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。」を特に重視して進めていく。本単元では、「芸北の宝で地域おこし」の活動のなかで、生徒がより地域の自然の良さを知り、将来芸北の地域おこしのために取り組んでくれるような生徒の育成も大きな目的の一つとしている。この目的の達成のために、下見・本番を繰り返す中で、目指す理想の姿と現在の自分の姿を比較したり、他者との比較をしたりすることで自己の成長や課題に気づかせる。さらに、その課題に対する視点や発想を柔軟に転換したり、これからの生活に役立てようとする姿勢を育てることで、「多面的・多角的な見方・考え方」を確実に身に付けさせたい。

単元を進めていくうえで、「妨げ」となる二つの場を設定している。一つは、ガイドのプロからガイドのノウハウを学び、実際にガイドをすることである。プロのガイドと自分自身のガイドを比較することで、そこには大きな差があることを毎回の活動で認知することとなる。その理想のガイド像と今の自分自身のガイドを比較し、改善していくことを繰り返すことで、課題を解決する力を身に付けていくことができる。

もう一つの「妨げ」は、一般の方をガイドすることを2回目の本番で設定していることである。1回目のガイドでは、生徒がよく知っている芸北小学校の児童をガイドすることで、程よい緊張感を持ちながらガイドをすることができる。しかし、一般の方をガイドすることで、1回目とは全く違う更なる緊張感と不安感を与え、そのストレスへの対応が必須になる。また、芸北地域外から来られる方々に芸北の魅力を伝えるためには様々な工夫を重ねる必要がある。以上のように、より厳しい「妨げ」が生まれる場を設定し、力を合わせて乗り越えていくことで、課題を解決していく力を身に付けさせたい。

また、単元の最後には自分たちの取組についてまとめ、発表する活動を実施する。自らの課題や成長をふり返り、相手に分かりやすく伝えるための工夫を考えることで、表現力の育成や、ガイドを通して芸北の魅力を再発見し、芸北で暮らしたい、働きたい、魅力を広めていきたいという気持ちの育成も期待できる。

6 単元の概要

(1) 単元の目標

芸北には豊かな自然があることを実感し、トレッキングガイドに必要となる3要素（安全・安心な環境づくり、知識・技能、雰囲気づくり）を意識しながら、ガイド成功に向けての取組を繰り返すことを通して、仲間と協働して主体的に課題解決に取り組む姿勢を身に付け、芸北の地域活性化につなげていこうとする態度を育てる。

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①問題場面に対して、危険を予測することができるとともに、危険発生時には事前に予測していた対応の仕方を身につけている。【安全・安心をつくる力】</p> <p>②自分の役割を理解し、目標に向かって仲間の考えを尊重しながら活動することで、目指す姿に近づいていることを自覚している。【協働する力】</p> <p>③芸北地域の人口減少や自然にかかわる諸問題と自分たちの生活とのかかわりについて学んだことは、地域おこしとなる探究的な学習を行ってきた成果であると理解している。</p>	<p>①問題場面に対して自らの課題を発見し、計画を立てている。 【課題の設定】</p> <p>②自らの課題に対して、情報を多様な手段で収集している。 【情報の収集】</p> <p>③集めた情報を必要に応じて取捨選択したり、情報の傾向を見つけていたりしている。【整理・分析】</p> <p>④自らの課題に対して、情報を整理分析するなどした結果や自分の考え等を様々な方法で振り返っている。【まとめ・表現】</p> <p>⑤活動を通し、様々な視点で目指す理想の姿と現在の自分との比較をしたり、他者との比較をしたりすることで、確かな理由や根拠をもっている。 【多面的・多角的な見方・考え方】</p>	<p>①ストレスに対する自分の特性を理解し、自分なりのストレスの乗り越え方を見つけ、行動意欲を回復しようとしている。 【自己回復力】</p> <p>②めざす自分を達成するために、自己が正しいと思う具体的な行動を選択し、計画的に実行しようとしている。【意志力】</p> <p>③活動を振り返る中で、自らの地域に対する理解が深まったことを、将来どう言った形で地域社会に貢献していくか考え、まとめようとしている。</p>

(4) 単元計画 (全 42 時)

節	時数	ねらい・学習活動	評価			
			知	思	態	評価方法
1	5	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">課題設定</div> <ul style="list-style-type: none"> ・芸北の活性化を目的として、トレッキングガイドを計画する。 ・試しの体験として学校周辺を、プロにガイドをしてもらう。 		① ②		<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動 ・振り返りシート
2	3	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">情報収集</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドとしての心得をプロのガイドから学ぶ。 	②	②		<ul style="list-style-type: none"> ・検定試験 ・話し合い活動
3	6	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">情報収集</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;">整理・分析</div> <ul style="list-style-type: none"> ・小中合同行事に向けて、実際にガイドする高原の下見に行く。 ・下見の振り返りを行い、本番のための準備を各グループで行う。 	①	③		<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート ・話し合い活動
4	1	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">整理・分析</div> <ul style="list-style-type: none"> ・小中合同行事の振り返りを行う。 		④ ⑤	① ②	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート
5	16 本時 15 / 16	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">課題設定</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;">情報収集</div> <ul style="list-style-type: none"> ・1学期の活動を振り返り、ガイドとしての心得や目的を再確認する。 ・一般の方をガイドするために八幡高原に下見に行く。 ・下見の振り返りを行い、本番のための準備を各グループで行う。 	③	① ② ③	②	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・話し合い活動 ・振り返りシート
6	10	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">整理・分析</div> <ul style="list-style-type: none"> ・トレッキングガイド本番 ・ガイドのふり返しを行う。 	① ②	④ ⑤	① ②	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動
7	1	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">まとめ・表現</div> <ul style="list-style-type: none"> ・「芸北ジュニアトレッキングガイド」のまとめを行い、発表する。 	③		③	<ul style="list-style-type: none"> ・発表資料

7 本時について

(1) 本時の目標

トレッキングガイドで芸北の良さをアピールしたり、お客さんに楽しんでもらったりするための方法を考えることができる。

(2) 本時の評価規準

めざす自分を達成するために、自己が正しいと思う具体的な行動を選択し、計画的に実行しようとしている。(意志力)

(3) 準備物 ワークシート、ホワイトボード

(4) 本時の展開

学習活動	◇指導上の留意点	評価規準【観点】 (方法)
<p>1 本時のねらいを確認する。</p>		
<p>お客さんに楽しかったと思ってもらえるガイドの方法を考えよう。</p>		
<p>2 前時の振り返り。</p> <p>3 今回の芸北ジュニアトレッキングガイドで、お客さんが楽しかったと思えるガイドをするための方法を考える。</p> <p>4 班で意見を交流する。</p> <p>5 どんな意見が出たのか、全体に発表する。</p> <p>6 自分自身の目標を記入する。</p>	<p>◇前時の振り返りをする。</p> <p>◇お客さんが楽しかったと思えるガイドの方法を個人で書かせる。</p> <p>◇どうするとお客さんが楽しかったと思ってもらえるのか交流し、ホワイトボードに書かせる。</p> <p>◇ホワイトボードに書いた意見を全体で発表させる。</p> <p>◇発表を聞いて、自分自身の目標を具体的に書かせる。</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度 意志力】</p> <p>めざす自分を達成するために、自己が正しいと思う具体的な行動を選択し、計画的に実行しようとしている。 (ワークシート)</p>
<p>7 次時の予定を伝える。</p>		

(5) 板書計画

めあて

お客さんに楽しかったと思ってもらえるガイドの方法を考えよう。

前回まで

プロのガイドには勝てない！

芸北の宝

○芸北の良さ・素敵なところ

○子どもたち（中学生）など

→具体的な方法を考える

総合的な学習の時間 ルーブリック（3年間共通）

令和5年度 北広島町立芸北中学校

資質・能力		レベル1	レベル2	レベル3	
知識・技能	安全・安心をつくる力	問題場面に対して、危険を予見し、未然に防ぐ方法を選択することができる。	問題場面に対して、危険を予見し、危険発生時には予見に基づく行動を選択し、対応することができる。	問題場面に対して、危険を予見し、危険発生時にはその場に応じた対応を冷静に行うことができる。	
	協働する力	自分の役割を意識し、仲間の考えを理解ながら、自分の役割を果たし活動することができる。	自分の役割を理解し、目標に向かって仲間の考えを尊重しながら活動することで、目指す姿に近づくことができる。	自分の役割を見極め、目標に向かって仲間と力を合わせながら活動することで、身に付いた力を日常生活に生かすことができる。	
思考・判断・表現	課題解決力	課題の設定	問題場面に対して、自らの課題について考えている。	問題場面に対して、自らの課題を発見し、計画を立てている。	問題場面に対して、自らの課題を発見し、解決の方法などを考え、見通しを持った計画を立てている。
		情報の収集	自らの課題に対して、情報を収集する手段を考えている。	自らの課題に対して、情報を多様な手段で収集している。	自らの課題に対して、情報を効率的に収集している。
		整理・分析	集めたそれぞれの情報の共通点や差異点を見つけている。	集めた情報を必要に応じて取捨選択したり、情報の傾向を見つけていたりしている。	集めた情報を取捨選択したり、情報の傾向を見つけていたりすることで、確かな理由や根拠をもっている。
		まとめ・表現	自らの課題に対して、情報を整理分析するなどした結果や自分の考え等をまとめている。	自らの課題に対して、情報を整理分析するなどした結果や自分の考え等を様々な方法で振り返っている。	自らの課題に対して、情報を整理分析するなどした結果や自分の考え等を様々な方法で振り返ることで、自己の成長を自覚し、これからの生活に役立てようとしている。
	多面的・多角的な見方ができる力	活動を通し、視点や尺度、発想を転換しながら、様々な視点で人や物事を柔軟に捉えている。	活動を通し、視点や尺度、発想を転換し、それらと比較することで、確かな根拠をもって、人や物事を捉えることができる。	活動を通し、視点や尺度、発想を転換し、それらと比較し考察する力を自分の生活に役立てている。	
主体的に学習に取り組む態度	自己回復力	ストレスに対し、自分なりのストレスの乗り越え方を見つけ出そうとしている。	ストレスに対する自分の特性を理解し、自分なりのストレスの乗り越え方を見つけ、行動意欲を回復しようとしている。	ストレスに対する自分の特性を理解したり、他者の意見や異なる考えを受け入れたりすることで、柔軟にストレスを乗り越える方法を見つけ出し、その方法を活かすことで、行動意欲を回復しようとしている。	
	意志力	めざす自分を達成するために、自己が正しいと思う行動を選択し、計画を立て、実行しようとしている。	めざす自分を達成するために、自己が正しいと思う具体的な行動を選択し、粘り強く実行しようとしている。	めざす自分を達成するために、状況に応じた行動を的確に選択し、立案した計画を意欲的・継続的に実行しようとしている。	